



WALRUS AUDIO

DESCENT REVERB

Descentは、音にアンビエントなテクスチャーを加えます。本ペダルには、Hall、Reverse、Shimmerの3つのモードが存在します。それぞれのモードでは、エフェクト音にオクターブ上/下の音を追加することができます。Hallモードでは、小さい部屋やホールでの反響音など、クラシックなリバーブエフェクトが使えます。Reverseモードでは、プリディレイのタイムコントロールと共に、リバーブエフェクトを使用できます。Shimmerモードでは、オクターバーとしての機能がフィーチャーされ、ドライシグナル/1オクターブ下/1オクターブ上のミックスを自由に変える事で、壮大なサウンドを創り上げることが出来ます。

Descentの8つのノブは、好みのリバーブサウンドを実現させます。また、外部スイッチをFavインプットへ繋げることで、エフェクトのオン/オフや、プリセットの保存を行えます。もしエフェクターボードがペダルで一杯なら、Descentをボードの後ろに配置し、小さなSPSTスイッチを繋げましょう。スイッチをボードの前に持つことで、貴重なスペースを有効活用できます。Favインプットでは、TRSケーブルを使用します。またDescentは、エクスプレッション・ペダルにも対応しています。エクスプレッション・ペダルでは、各パラメータの上限と下限を、それぞれ設定できます。

INPUTS AND OUTPUTS

電力:9VDCのアダプターによって供給されます。140mA以上の電流が必要です。

In:楽器からのインプットは、シールド端子に対応しています。

Left Out (Mono):モノで出力される場合は、こちらのアウトプットをご使用下さい。

Right Out (For Stereo):ステレオで出力される場合、Left Outと併用して下さい。

Exp:エクスプレッション・ペダルが使用できます。

Remote:2チャンネルの外部スイッチの利用で、本体の2つのスイッチを操作することができます。外部スイッチの利用で、本体の遠隔操作が可能になります。Fav機能を使うには、TRSケーブルが必要となります(外部スイッチは別売りです)。

FOOT SWITCHES

Presetスイッチ:プリセット間の切り替えを行います。

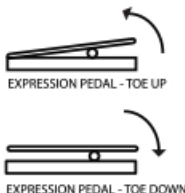
Bypassスイッチ/プリセット保存:Bypassスイッチで、エフェクトのオン/オフを切り替えます。セッティングを保存し新しくプリセットに追加する際は、PresetのLEDが光るまで、Bypassスイッチを長押しします。

SETTING PRESETS

プリセットを保存するためには、まずノブを保存したい位置にセットして、Bypassスイッチを長押しして下さい。Bypassスイッチは点滅し、プリセットが保存されると、点滅が終了します。プリセットは3つあり、Presetスイッチの上のLEDの色によって、示されます(青、緑、赤)。Presetスイッチを押すことで、それらのプリセットを切り替えられます。

EXPRESSION PEDAL

エクスプレッション・ペダルでは、一つもしくは複数のパラメータを、足の傾きに連動させることができます。Descentでエクスプレッション・ペダルを使うには、Expインプットを使用します。まずは、エクスプレッション・ペダルをつま先側まで踏みこみ、最も高いパラメータを自由にセットして下さい。その後ペダルをかかと側に踏み込み、最も低いパラメータをセットします。エクスプレッション・ペダルを動かすと、二つの設定したパラメータの間で、セッティングが滑らかに移行します。



HALL MODE

■Dry Mix:出力される原音(ドライ音)の比率をコントロールできます。ゼロに絞った状態ではエフェクト音のみが聞こえ、そこからツマミを上げることで、徐々に原音が混ざります。

■Reverb Time:エフェクト音が消えるまでの長さを設定できます。ノブをゼロにすると、リバーブはかかりません。そこからノブを上げることで、リバーブタイムは長くなります。

■Diminish:リバーブの拡がり感を調整できます。ノブを上げると、拡がりが大きくなります。リバーブでは、部屋の大きさが再現されますが、このツマミでは、部屋の壁の質を再現します。ゼロの状態は、平らな壁、フルにノブを回した状態では、硬いゴツゴツした壁(拡がる音)が再現されます。

■Tweak:リバーブ音の、高域の減衰度合いが設定できます。

■Dry Signal:楽器の信号が最初に通るのは、オクターブ・コントロール(Dry Signal、-1 Octave、+1 Octave)です。このツマミでは、原音が、どれほど上段のリバーブ・コントロールに混ざるのかを、調整できます。ゼロに絞った状態では、オクターブ音のみ、リバーブがかかります。オクターブ音と共に原音を、リバーブユニットへと出力したい場合は、ツマミを上げて下さい。

■-1 Octave:ノブを上げると、原音に対して、1オクターブ下の音が加わります。

■+1 Octave:ノブを上げると、原音に対して、1オクターブ上の音が加わります。

■Wet Mix:出力されるドライ音とウェット音の比率をコントロールできます。ノブが12時の状態では、両者が50%ずつ出力されます。そこから時計回りにノブを動かすと、ドライ音の比率が減り、ウェット音の比率が増えます。反時計回りに回すと、ドライ音の比率が増え、ウェット音の比率が減ります。

REVERSE MODE

■Dry Mix:出力される原音(ドライ音)の比率をコントロールできます。ゼロに絞った状態ではエフェクト音のみが聞こえ、そこからツマミを上げることで、徐々に原音が混ざります。

■Reverb Time:Reverse Mode時は、リバーブサウンドのプリディレイを調整できます。

■Diminish:Reverse Mode時は、エフェクト音が消えるまでの長さ(リバーブタイム)を設定できます。ノブをゼロにすると、リバーブはかかりません。そこからノブを上げることで、リバーブタイムは長くなります。

■Tweak:Reverse Mode時は、エフェクト音のトーンコントロールとなります。ツマミを時計回りに動かす事で、音のキャラクターはダークからブライトへと、変化します。

■Dry Signal:楽器の信号が最初に通るのは、オクターブ・コントロール(Dry Signal、-1 Octave、+1 Octave)です。このツマミでは、原音が、どれほど上段のリバーブ・コントロールに混ざるのかを、調整できます。ゼロに絞った状態では、オクターブ音のみ、リバーブがかかります。オクターブ音と共に原音を、リバーブユニットへと出力したい場合は、ツマミを上げて下さい。

■-1 Octave:ノブを上げると、原音に対して、1オクターブ下の音が加わります。

■+1 Octave:ノブを上げると、原音に対して、1オクターブ上の音が加わります。

■Wet Mix:出力されるドライ音とウェット音の比率をコントロールできます。ノブが12時の状態では、両者が50%ずつ出力されます。そこから時計回りにノブを動かすと、ドライ音の比率が減り、ウェット音の比率が増えます。反時計回りに回すと、ドライ音の比率が増え、ウェット音の比率が減ります。

取扱説明書

●安全にご使用いただくために

この度はWALRUS AUDIO製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- ・使用開始前に、安全ため下記の説明をよくお読みください。
- ・お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守ってください。

⚠ 警告: 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ 注意: 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

⚠ 警告

1. 火災または感電の危険を避けるため分解したり修理、改造は行わないでください。
2. 火災または感電の危険を避けるため本機器を雨や湿気にさらさないでください。

⚠ 注意

1. この取扱説明書をよくお読みください。
2. この取扱説明書で説明されている範囲を超えた保守点検作業を行わないでください。
3. 本機器を暖房器具や電熱器などの熱を発生する機器の近くに置かないでください。
4. 本機器に異物や液体が入らないようにしてください。
5. 本機器の清掃には、金属部分の先端部などでけがをしないよう注意して、乾いた布のみを使用してください。
6. 火器の近くを避け、安定した場所に保管してください。天災による事故、火災の原因となったり、地震の際に落下してけがの原因になることがあります。
7. 発火や感電の危険を避けるため本危機を濡れた手で、水の近くで使用しないでください。

SHIMMER MODE

- Dry Mix: 出力される原音(ドライ音)の比率をコントロールできます。ゼロに絞った状態ではエフェクト音のみが聞こえ、そこからツマミを上げることで、徐々に原音が混ざります。
- Reverb Time: エフェクト音が消えるまでの長さを設定できます。ノブをゼロにすると、リバーブはかかりません。そこからノブを上げることで、リバーブタイムは長くなります。
- Diminish: Shimmer Mode時は、リバーブのフィードバックを調整できます。
- Tweak: Shimmer Mode時は、このツマミでリバーブの拡がり感を調整します。ノブを上げると、拡がりが大きくなります。リバーブでは、部屋の大きさが再現されますが、このノブでは、部屋の壁の質を再現します。ゼロの状態は、平らな壁、フルにツマミを回した状態では、硬いゴツゴツした壁(拡がる音)が再現されます。
- Dry Signal: 楽器の信号が最初に通るのは、オクターブ・コントロール(DrySignal、-1 Octave、+1 Octave)です。このツマミでは、原音が、どれほど上段のリバーブ・コントロールに混ざるのかを、調整できます。ゼロに絞った状態では、オクターブ音のみ、リバーブがかかります。オクターブ音と共に原音を、リバーブユニットへと出力したい場合は、ツマミを上げて下さい。
- -1 Octave: ノブを上げると、原音に対して、1オクターブ下の音が変わります。
- +1 Octave: ノブを上げると、原音に対して、1オクターブ上の音が変わります。
- Wet Mix: 出力されるドライ音とウェット音の比率をコントロールできます。ノブが12時の状態では、両者が50%ずつ出力されます。そこから時計回りにノブを動かすと、ドライ音の比率が減り、ウェット音の比率が増えます。反時計回りに回すと、ドライ音の比率が増え、ウェット音の比率が減ります。

STEREO IN MODE

Descentは、ステレオインプットにも対応しています。この機能を使うためには、ステレオの信号と、TRSフォンの分岐ケーブルが必要となります。ステレオインプットモードを起動するためには、裏蓋を開け、基盤の左側(InとRight Outのすぐ下)にある赤いDIPスイッチを操作して頂くことになります。デフォルトでは、S1スイッチが下がって、S2スイッチが上がっています(モノラルインプットモード)。Descentをステレオインプットにするには、S1スイッチを上げ、S2スイッチを下げます。裏蓋を開け、TRSフォンの分岐ケーブルをInに挿入すれば、ステレオ入力が使用できるようになります。

